

## 金魚が到着したら

- ① 金魚が到着したら**段ボールケースを開封し**、**ビニール袋は開封せず**、金魚の状態を到着後**2時間以内に必ず確認**してください。
- ② 金魚水槽（プール）に水を入れ、**カルキ抜きの錠剤**（10ℓに3～5粒）を入れてください。ポリバケツのような深い入れ物の使用や井戸水の利用はおすすめできません。
- ③ 約30分～1時間程度、**金魚を開封せず袋のまま水に浮かべ**、金魚水槽（プール）の水温にならしてください。
- ④ 金魚水槽（プール）内のカルキ抜きの錠剤が解けているか確認してください。
- ⑤ 金魚移し用ザルなどを使用して、**金魚のみを金魚水槽（プール）へ**移してください。  
※袋の水は長時間の輸送で汚れているので金魚水槽（プール）に入れないようにしてください。
- ⑥ 金魚を移し替えた後は、水温が変化しにくい場所（「直射日光が当たらず」「風通しが良く」「熱がこもらない場所」「朝晩寒くなりすぎない場所」）に保管してください。
- ⑦ 金魚が到着後、2～3日は餌を与えないでください。
- ⑧ 酸欠を防ぐ為、金魚水槽（プール）にエアープンプでエアを入れてください。



## 金魚すくい実施時の注意



- ① 室内の場合は、「冷房による急激な水温低下」「冷房を切った後の急激な水温上昇」が起こる可能性があるため、**冷房に注意**してください。
- ② 金魚すくいはできるだけ**直射日光を避けて**ください。水温が高くなった場合、長時間の催しの場合は、**足し水**をしてください。
- ③ 酸欠を防ぐ為、水槽には**エアープンプ**でエアを入れてあげてください。
- ④ 金魚すくいをするときは、適当な量まで水を減らしてください。  
※「水深が深いと難しく」「水深が浅いと簡単」です。**水深10cmくらい**がおすすめです。



## 活動的な金魚の環境

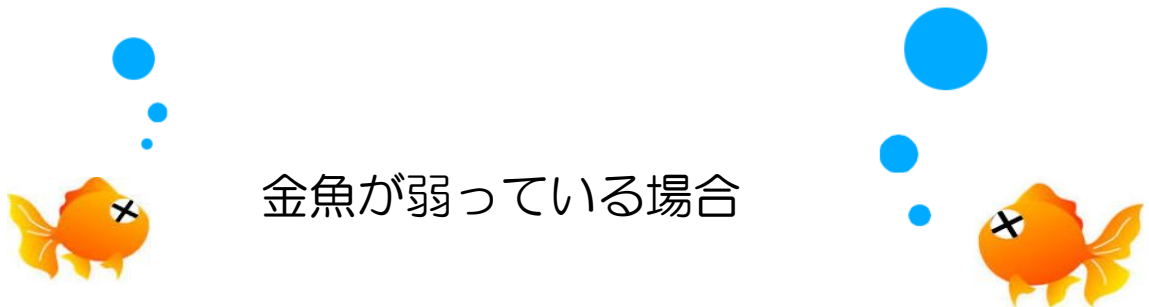
★カルキ抜きをした水道水（カルキや鉛物質の入っていない軟水）

★水温は 15 度～28 度程度

★バクテリアが多く水中に酸素がある状態

※水の泡が中々消えない時は水質が悪化しているしるしです。

早めに水換えや濾過装置のお手入れをしましょう。



塩浴させると良い…金魚の体内塩分濃度に近づけ、体への負担を少なくするため。

水槽の塩分濃度が 0.1%～0.3%の濃度になるように岩塩を入れて上げてください。

（0.5%が金魚にとって一番負担の少ない環境なのですが、濃度が変わりすぎても良くないため、0.2%ぐらいをおすすめします）

いききに 0.2%にすると金魚がびっくりするので、最初は 0.1%分程入れたプールに金魚を入れ、その後徐々に 0.2%分まで塩を追加していきましょう。（塩を入れた後かきまぜず、徐々に溶けていく方が尚良い）長旅で疲れた金魚の体調がよくなりやすいです。

※0.2%の岩塩…水 100ℓ に対し約 200g